

2018年春学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：キリストのからだとしての召会を建造するために、
キリストの豊富を享受する

メッセージ 4

すべてを含むキリストをすべての積極的な事物の実際として享受する

聖書・コロサイ 2:16-18 前半、ヨハネ 14:6 前半、17、Iヨハネ 5:6、ヨハネ 16:13

- I. 「そういうわけで、食べることと飲むことについて、あるいは祭りや新月や安息日について、だれにもあなたがたを裁かせてはなりません。これらは来たるべき事柄の影であって、その本体はキリストにあります。あなたがたをふさわしくないと断って、わざとらしい謙そんや天使礼拝をする者に、あなたがたの賞をだまし取らせてはなりません」——コロサイ2:16-18前半：
- A. 第2章17節の本体は、人の体のように実質です。律法の中の儀式は、人の体の影のようにキリストの影です。キリストが、福音の実質と実際です。コロサイ人への手紙は、このようなすべてを含むキリストが神のエコノミーの焦点であることを明らかにしています——1:17前半、18前半、3:11。
 - B. 日ごとに、週ごとに、月ごとに、年ごとに、キリストはあらゆる積極的な事物の実際であり、それは、すべてを含むキリストの宇宙的な広大さを意味します：
 - 1. 日ごとに、キリストはわたしたちの食物と飲み物であり、わたしたちを満足させ、力づけます——Iコリント 10:3-4。
 - 2. 週ごとに、キリストはわたしたちの安息日であり、わたしたちは彼の中で完成と安息を持ちます——マタイ 11:28-29。
 - 3. 月ごとに、キリストはわたしたちの新月であり、暗やみの中で光による新しい開始となります——ヨハネ 1:5、8:12。
 - 4. 年ごとに、キリストはわたしたちの祭りであり、わたしたちの喜びと享受となります——Iコリント 5:8。
 - C. 拡張するキリストは、吸引力に満ちており、磁力に富んでおり、聖書の本質です——ルカ 24:44、ヨハネ 5:39-40、マタイ 1:1、参照、啓 22:21。
 - D. 文脈によれば、コロサイ第2章18節の「賞」は、影の本体であるキリストを享受することです。わたしたちの賞をだまし取られるとは、キリストの主観的な享受をだまし取られることです——参照、創 15:1、ピリピ 3:8。
 - E. わたしたちの必要は、主観的なキリストがわたしたちの享受となって、わたしたちの中で神聖な啓示を完成することです。もしわたしたちがキリストの経験と享受に欠けているなら、神の啓示に関しても欠けています——コロサイ 1:25-28。
 - F. わたしたちは毎日何を行なおうとも、キリストがその事の実際であることを思い起こさせるべきです。もしわたしたちが日常生活の中で、キリストをすべての物質的

な事物の実際とすることを訓練するなら、わたしたちの日常の歩みは徹底的に変えられ、造り換えられ、わたしたちはキリストに満ちるでしょう——Ⅱコリント 4:16. ピリピ 1:19-21 前半。

G. わたしたちは日ごとにキリストをわたしたちのすべての必要の実際として享受する必要があります：

1. キリストはわたしたちの息です——ヨハネ 20:22。
2. キリストはわたしたちの飲み物です—— 4:10, 14. 7:37-39 前半。
3. キリストはわたしたちの食物です—— 6:35, 57。
4. キリストはわたしたちの光です—— 1:4. 8:12。
5. キリストはわたしたちの衣服です——ガラテヤ 3:27。
6. キリストはわたしたちの住まいです——ヨハネ 15:5, 7 前半。

II. **すべてを含むキリストは、宇宙の中のすべての積極的な事物の実際です——参照、ローマ1:20. エペソ3:18. 詩歌374番：**

A. 宇宙とその中の万物と人が造られたのは、キリストを描写するためでした。ですから、彼は弟子たちにご自身を啓示する時、ご自身を説明するのに用いることのできるものや人を、どのような環境の中でも容易に見いだすことができたのです——コロサイ 1:15-17. ヨハネ 1:51. 10:9-11. 12:24. 21:25. マタイ 12:41-42。

B. 旧約は六つの主要な部類のものを予表として用いて、キリストを描写しています。すなわち、人物、動物、植物、鉱物、ささげ物、食物です：

1. 人物はキリストを予表しています。たとえば、アダム（ローマ 5:14）、メルキゼデク（ヘブル 7:1-3）、イサク（マタイ 1:1）、ヨナ（12:41）、ソロモン（42 節）などです。
2. 動物はキリストを予表しています。たとえば、小羊（ヨハネ 1:29）、獅子、牛、わし（エゼキエル 1:10）、かもしか（雅 2:9）などです。
3. 植物はキリストを予表しています（彼は命の木です—創 2:9）。たとえば、ぶどうの木（ヨハネ 15:1）、りんごの木（雅 2:3）、いちじくの木、ざくろの木、オリーブの木（申 8:8）などです。木のさまざまな部分もキリストの予表です。たとえば、根、切り株、小枝、若枝、枝、実などです（イザヤ 11:1, 10. 4:2. ルカ 1:42. 啓 5:5）。
4. 鉱物はキリストを予表しています。たとえば、金、銀、銅、鉄（申 8:9 後半、13）などです。またさまざまな種類の石があります。すなわち、生ける石（Ⅰペテロ 2:4）、岩（Ⅰコリント 10:4）、隅の石（マタイ 21:42）、かしら石（ゼカリヤ 4:7）、土台の石、宝石（Ⅰコリント 3:11-12）などです。
5. ささげ物はキリストを予表しています。たとえば、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、揺り動かすささげ物、挙げるささげ物、注ぎのささげ物などです——ヨハネ 1:14, 29. 4:24. 参照、詩 100:2。
 - a. 完全に神の満足のためであった全焼のささげ物が予表するのは、キリストが神の喜びまた満足であり、彼の地上での生活が神のために絶対的であったということです——レビ 1:3. 民 28:2-3. ヨハネ 7:16-18。

- b. 穀物のささげ物が予表するのは、完全な人性におけるキリストが神のための食物であり、また神と交わり、神に仕える人のための食物であることです——レビ 2:1, 4. 詩 92:10. ヨハネ 7:46. 18:38. 19:4, 6。
 - c. 平安のささげ物が予表するのは、キリストが平和をつくる方であるということです。彼はわたしたちのために死ぬことによって、わたしたちと神との間の平和と交わりになりました。そして彼は、わたしたちが神と共にキリストを享受し、キリストの中で神と交わりを持ち、わたしたちと神が相互に満足することができるようにします——レビ 3:1. 6:11-13. エペソ 2:14-15. ヨハネ 12:1-3, 20:21。
 - d. 罪のためのささげ物が予表するのは、キリストがわたしたちのために罪（単数）とされ、十字架上で死んで、わたしたちの墮落した存在の罪深い性質を対処する方であるということです——レビ 4:3. II コリント 5:21. ローマ 8:3. ヨハネ 1:29. 3:14。
 - e. 違犯のためのささげ物が予表するのは、キリストがわたしたちの罪（複数）を、ご自身の体において担い、十字架上で神によって裁かれて、わたしたちの罪深い行為を対処し、わたしたちの罪深い行為が赦されるようにした方であるということです——レビ 5:6. I ペテロ 2:24. 3:18. イザヤ 53:5-6, 10-11. ヨハネ 4:15-18。
 - f. 揺り動かすささげ物が予表するのは、愛の中にある、復活したキリストであるということです——レビ 7:30. 10:15。
 - g. 挙げるささげ物が予表するのは、昇天して高く上げられた力強いキリストです——7:32. 出 29:27. エペソ 1:19-23. 参照、3:16, 20
 - h. 注ぎのささげ物が予表するのは、キリストが神の御前にぶどう酒として注ぎ出されて、神の満足となった方であり、また天のぶどう酒としてのご自身をもってわたしたちに浸透し、注ぎ出されて、神の享受と満足となる方であるということです——レビ 23:13. 出 29:40. 民 28:7-10. イザヤ 53:12. マタイ 9:17. ピリピ 2:17. II テモテ 4:6. 士 9:13。
6. 食物はキリストを予表しています。たとえば、パン、ぶどう、いちじく、ざくろ、オリブ、小麦、大麦、乳、蜜などです——ヨハネ 6:35. 申 8:8-9. 26:9。
- C. 新約において、キリストは実際の霊であり、彼であるすべての計り知れない豊富を、わたしたちに対して実際とならせ、神聖な実際である彼ご自身の中へとわたしたちを導き入れます——ヨハネ 14:6 前半. I ヨハネ 5:6. ヨハネ 14:17. 16:13 :
- 1. わたしたちは、ささげ物の実際としてのキリストを経験する必要があります：
 - a. ささげ物は、わたしたちの問題を解決し、わたしたちと神との隔てを除き去ります——14:6。
 - b. ささげ物は、わたしたちが神を享受し、神とミングリングされ、神がわたしたちの存在の中へと吸収されて、わたしたちの構成要素となることができるようにします——ガラテヤ 4:19. エペソ 3:17. コロサイ 3:10-11.
 - c. ささげ物は、わたしたちが神の中へと入り、神性と人性の合併の一部分となる道です——ヨハネ 14:6, 20。

- d. ささげ物は、わたしたちの問題を解決する犠牲であるだけでなく、神の享受となる神への贈り物でもあります——民 28:2. 参照、マタイ 3:17. 17:5。
2. 聖なる御言の中の記録によれば、宇宙の実際は幕屋またささげ物としてのキリストです——ヨハネ 1:14, 29. 14:6 :
- a. キリストは肉体と成ってわたしたちの間に幕屋を張った時、神を、接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することのできる方としました。
- b. 神・人として、キリストは幕屋であって、神と人のための住まいです。また彼はささげ物であって、それは人が神の中へと入るためです—— 1:14. 14:20, 23. 1:29。
- c. キリストは、幕屋またささげ物の実際であり、宇宙の実際また内容です—— 14, 17 節。
- d. ささげ物としてのキリストを通して、わたしたちは神の中に住むことができ、神もわたしたちの中に住むことができます。これは宇宙の実際、また聖書の内容です—— 15:4 前半。
- e. 幕屋としてのキリストは、神を人にもたらしめます。ささげ物としてのキリストは、人を神にもたらし、人が神と結合され、ミングリングされ、合併されるようにします。
- D. すべての予告の実際を構成する要素は、その霊の中にあります。その霊は主の言葉を通して、これらすべての豊富をわたしたちの中に注入し、分与します——ピリピ 1:19. ヨハネ 6:63. コロサイ 3:16. エペソ 6:17-18. 啓 2:7。
- Ⅲ. すべての積極的な事物の実際であるキリストは、からだのかしらである方です。こういうわけで、かしらに結び付くとは、キリストをすべての積極的な事物の実際として享受することです——コロサイ 2:19 :
- A. わたしたちがすべてとして享受しているキリストは、からだのかしらですから、わたしたちは彼を享受すればするほど、さらにはからだに対する感覚を持つようになります :
1. これが示していることは、キリストを享受することは個人主義的な事ではなく、からだの事であるということです——参照、エペソ 3:8. 4:15-16。
2. わたしたちはキリストを享受すればするほど、からだの他の肢体を愛するようになります——コロサイ 1:4, 8。
- B. キリストの頭首権は復活の中にあるので (18 節)、キリストを享受することは、自然にわたしたちを復活の中へともたらし、わたしたちを天然の存在から救い出します。
- C. キリストを享受することは、わたしたちを昇天の中で天へともたらしめます。わたしたちはかしらであるキリストを、わたしたちの霊の中の命を与える霊として享受することによってのみ、経験的に天にすることができます—— 3:1-2. II コリント 3:17. II テモテ 4:22. ローマ 8:10, 34。
- D. わたしたちはキリストを享受し、かしらとしての彼に結び付く時、無限に拡張する、すべてを含むキリストの豊富を吸収します。これらの豊富は、わたしたちの中で神

の増し加わりとなり、それによってからだは成長し、それ自身を建て上げます——
コロサイ 2:19, 7-8. エペソ 4:16。